

CSR Report 2018



CONTENTS

トップメッセージ	01
会社概要	02
事業紹介	04
商品開発	07
お客様	
お役立ち活動	09
品質マネジメント	11
アフターサービス	11
従業員	
雇用促進	12
安全衛生	13
人材育成・労使関係	15

環境	
環境マネジメント	16
環境パフォーマンスデータ	21
環境リスク低減	22
調達	23
社会貢献活動	24
コンプライアンス	25
コーポレートガバナンス	26

トップメッセージ



株式会社トランテックス
代表取締役社長

原田 泰彦

トランテックスは多くのお客様や仕入先様、地域の皆様に支えられて2018年に創業110周年の節目を迎えました。これからも事業を次の10年、そして50年と永続させていくためにも、まずは社内の安全意識向上と作業環境改善をこれまで以上に図り、従業員が安心して働ける環境を整備してまいります。また、地域と共存していくためにも水質・騒音を中心とした環境面への配慮も欠かせませんので、当社の潜在的な環境リスクを洗い出し、中長期的に対策を講じさせていただき、近隣の方が安心してお住まいいただける環境を維持していきます。そして製品面においては引き続き絶え間ない努力を積み重ね、高付加価値のトラックボデーを開発・設計・製造・販売し、お客様の事業発展のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

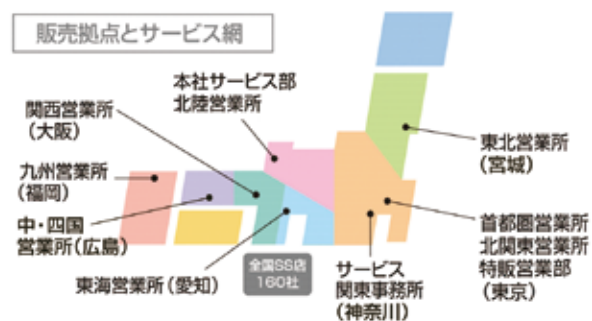
2018年3月、本社工場にほど近い山島工業団地に工場用地を取得いたしました。多くの需要に支えられた昨今の状況への対応はもちろん、将来の経済環境の変動やインターネット通販やコンビニエンスストアに代表される小口配送需要の増加に応じた小型車分野への本格的参入を念頭に、生産体制の再構築の必要性を感じており、取得した用地を有効活用していきたいと考えております。本社工場でもお客様をお待たせしないモノ造りを目指して、製造部門では生産能力向上を目的とした省人化や自動化の設備投資を計画的に行い、開発設計部門でも設計の効率化を追求していきます。

トランテックスはこれからも安全・品質・環境が事業活動の原点と捉えて改善活動を進め、これまで以上にお客様や仕入先様、地域の皆様に信頼される企業を目指します。そして、お客様の求める価値を提供し、トランテックスならではのトータルサポートで最適輸送・最適物流の実現を目指し未来社会の発展に貢献してまいります。

会社概要 (2018年3月31日)

株式会社 トランテックス

- 所在地 石川県白山市徳丸町670番地
- 設立 1930年3月
- 創立 2002年10月
- 資本金 11億円
- 従業員数 1,283名
- 製品 トラックボデー、特殊車両



本社・工場全景

- 敷地面積 103,289㎡
- 延床面積 50,011㎡



主要製品



ウイングシリーズ



バンシリーズ



ブロック煽シリーズ

トランテックス基本理念

基本理念は会社の使命と基本方針からなり、私たちトランテックスが社会の中で存在する意義、社会に対して果たすべき責任や方針を明確にしております。

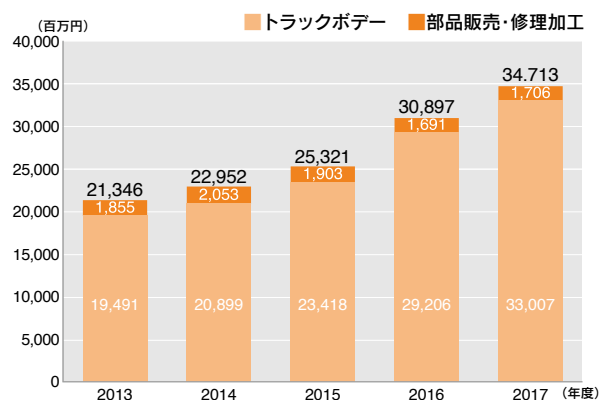
会社使命

- 地球環境に配慮し、輸送文化を創造し、未来社会に貢献する
- お客様に信頼され、頼れるパートナーとして輸送・物流をリードする

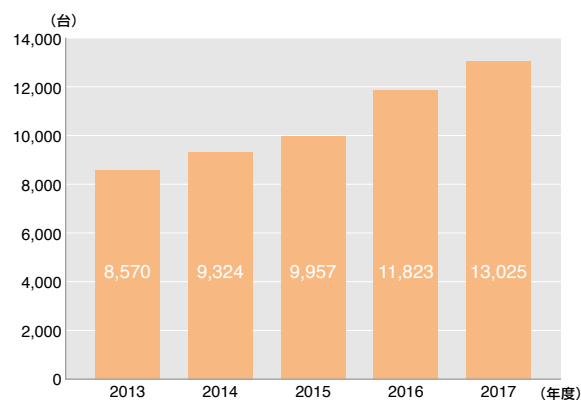
基本方針

- 人と地球環境に配慮し、社会とのつながりを大切にする
- 常に技術革新に努め、お客様のお役に立つ商品やサービスを提供する
- 変化を的確に捉え、社会との調和を図り、グローバルな視点で事業展開を行う
- 社員の能力を最大限に発揮し、プロ集団としての総合力を高める

売上高推移



トラックボデー生産台数推移



決算の要旨 (2017年度末)

貸借対照表

単位：百万円未満切り捨て

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	15,705
流動資産	14,679	流動負債	12,997
固定資産	8,041	固定負債	2,708
有形固定資産	5,973	純資産の部	7,015
無形固定資産	418	株主資本	6,387
投資その他の資産	1,648	評価・換算差額金	628
資産合計	22,720	負債純資産合計	22,720

損益計算書

単位：百万円未満切り捨て

科 目	金 額
売上高	34,713
売上原価	30,542
売上総利益	4,171
販売費及び一般管理費	2,657
営業利益	1,514
営業外利益	50
営業外費用	5
経常利益	1,564
特別利益	2
特別損失	134
税引前当期純利益	1,429
法人税等	456
当期純利益	973

事業紹介

大・中・小型のトラックボデーを開発・設計・製造・販売し、アフターサービスとしてリニューアル工事や部品販売を行っています。

トラックボデー生産

■大型車シリーズ

長距離、大量輸送に欠かせない大型シリーズです。積載量重視型、容積重視型、専用輸送型など、おすすめ仕様のほか、用途に合わせた最適ボデーをご提案いたします。

ドライバン



ハイスター・バン（ハイスライダー付）

冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

ドライウイング



ハイウイングMAX

冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

冷凍ウイング



ハイウイング・コールド“S”

幌ウイング



ワンタッチ幌（手動式）

ブロック振り



ハイブロック

■中型車シリーズ

配送から長距離輸送まで、あらゆるシーンで活躍する中型車シリーズです。軽量タイプや、おすすめ仕様のほか、用途に合わせたボデーをご提案いたします。

ドライバン



ハイスター・バン

冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍（床下格納式リフター付）

冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

ドライウイング



ハイウイングMAX

幌ウイング



ワンタッチ幌（手動式）

ブロック煽り



ハイブロック

■小型車シリーズ

市街区の集配から中・近距離輸送に最適、機敏な小型車シリーズです。

ドライバン



ハイスター・バン

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

ドライウイング



ハイウイングMAX

ブロック煽り



ハイブロック

リニューアル・部品販売

ボデーの載せ替え、キャブ・ボデー塗装、リア扉外板張替え、デザイン文字製作等や修理・ドレスアップ用の部品販売を行っています。

■ドレスアップ部品の一例

【アルミ製及びステンレス製サイドガード】



アルミ角パイプ型



ステンレス丸パイプ型



ステンレス角パイプ型

【煽り中間部ウイングロック】



オールステンレス製



BOX本体のみ
ステンレス製

商品開発

■ダブルデッキシステム トラック



荷室上部の空きスペースを有効活用！

荷室内に可動式の棚（ダブルデッキ）を設置する事で、重ね積みできなかった荷物や、高さが均一でない荷物を効率よく積載する事が可能になります。荷室内のスペースを最大限に活かすことで、**積載効率アップ・輸送コスト削減**ができます。

1 未使用時は天井に格納



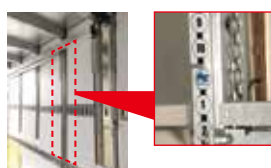
デッキ設置時



デッキ格納時

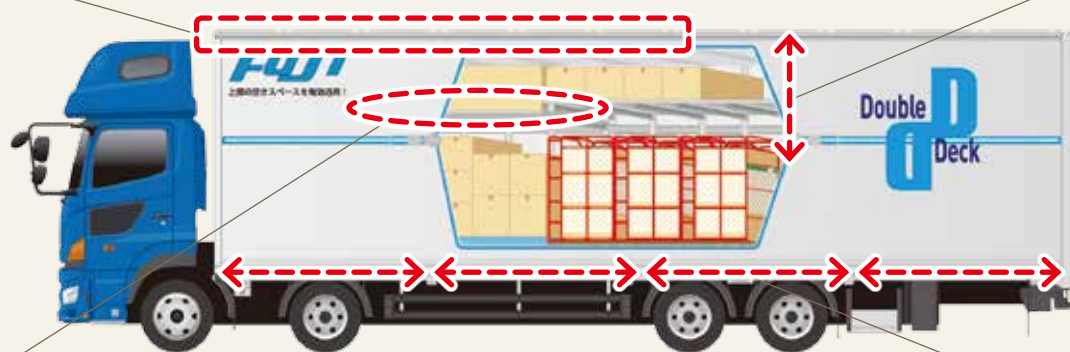
未使用時は天井位置まで格納すれば荷室内の高さ(2,430mm)を確保できます。ラッシングビームとエアラインレールはアルミ製で軽く、安全で操作が簡単です。

2 デッキの高さは2.5cm間隔で調節可



エアラインレールは2.5cm間隔で高さ調節ができるので、荷物の形状に合わせて空いたスペースを無駄なく利用できます。

※棚・ビーム・レールは、オールセーフ様にご協力いただきました。



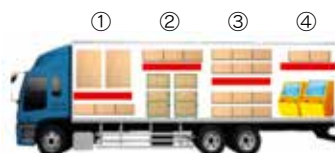
3 デッキ1セットの耐荷重は300kg



デッキのサイズは奥(運転席側)から2,325mm/1,800mm/1,800mm/1,800mm 1セットあたりの耐荷重は300kgです。

注：デッキ1セット＝棚4枚使用の場合

4 4分割されたデッキは組み合わせ自在



デッキ使用積込例

- ① パレット 上部
- ② カゴテナー 上部
- ③ ケアマーク貨物 上部
- ④ 精密機械類 上部

※デッキの高さを一定にすれば、長尺物の輸送も可能です

積載効率がアップすることで、輸送コスト削減にも役立ちます

操作手順

操作レバーはスムーズにロック・解除が出来ます。デッキ1セット(棚4枚)の設置時間は約3分です。

設置



①フック棒で適当な位置までビームを降ろす



②同様に反対も降ろす



③デッキ中央下部の操作レバーで高さを調節する

格納

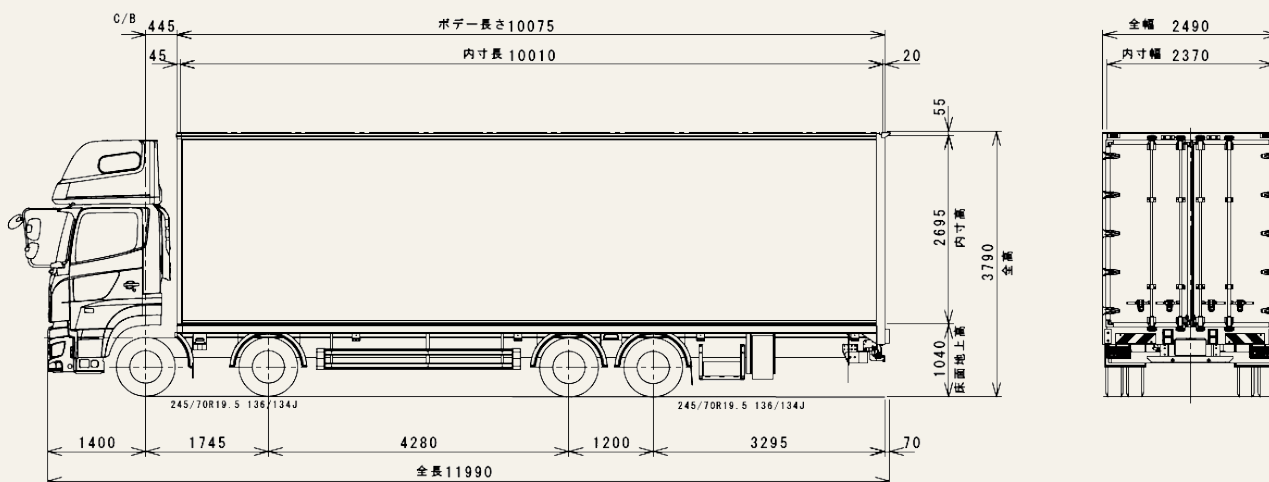


①操作レバーにフック棒2本を引掛ける



②操作レバーをもって天井まで押し上げる

ジャパントラックショー2018出展車両情報



主要諸元

●車名型式	日野 2PG-FW1AZHG
●全長	11,990mm
●全幅	2,490mm
●全高	3,790mm
●内寸長	10,010mm
●内寸幅	2,370mm
●内寸高	2,695mm
●車両総重量	24,930kg
●最大積載量	13,600kg

主要仕様

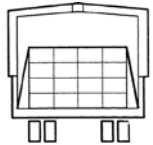
●ボデー基本仕様	ドライバン
●縦・横根太	縦：スチール製 横：スチール製
●前構造	骨格：スチール製 外板：アルミ外板
●屋根構造	骨格：スチール製 外板：アルミ外板
●側構造	骨格：スチール製 外板：アルミ外板
●リヤフレーム	スチール製
●後扉	アルミ型材観音扉
●側内装	オールセーフ製ダブルデッキシステム スチール製ラッシングレール2段
●床材	竹集成材
●バックアイモニター	カラー6.1インチ ルームミラー型
●庫内灯	LEDラインライト
●サイドガード	樹脂製 跳ね上げ式 2段
●フェンダー	樹脂製
●工具箱	樹脂製
●りん木いれ	アルミ製
●後中央当りゴム	ローラー式当りゴム

お客様

お役立ち活動

営業部門は本業であるボデー販売はもちろん、お客様の様々なご要望・お悩みにお応えし、お客様の本業の発展に少しでも貢献させていただきたいと考え、「お役立ち活動」を行なっています。「お役立ち活動」の一環で、お客様に当社の持つノウハウをご提供させていただく「お役立ちメニュー」は18種類をご用意させていただいており、2017年度も全国各地で開催しました。

【お役立ちメニューの一例】

冷凍バンの取扱について	冷凍バンでの品温管理について
◆メニューのねらいどころ 冷凍バンに不慣れなトラック乗務員による事故や不具合が心配というお客様の問題解決のお手伝いをします。 ◆内容 予冷や庫内換気、日常点検等冷凍バンをお使いになる時の基本的な注意点をご説明いたします。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員(特にアルバイト乗務員等不慣れな方) ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 冷凍ボデーの使い方を理解いただく事で安全で無理、無駄のない運送を行う事ができます。 	◆メニューのねらいどころ 積荷の溶解事故が心配、或いは輸送品質を高めたいというお客様へご提案します。 ◆内容 冷凍バンに荷物を積む時の注意点及び荷台のコンデションを保つ為のポイントをご説明します。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 溶解事故を防ぐと共に輸送品質を高め、他社との差別化をはかれます。 
ウイングの取り扱いについて	ウイングへの安全な荷積みについて
◆メニューのねらいどころ ウイング車の事故、修理でお悩みのお客様へご提案いたします。 ◆内容 開閉操作や荷物の積み方など、ウイングをお使いになる時の基本的な注意点をご説明します。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 ボデーや積荷の損傷を防ぎ、安全安心な運行が可能となります。 	◆メニューのねらいどころ トラック乗務員へ荷役作業に関する安全教育をお考えのお客様へご提案します。 ◆内容 ウイング構造の特徴を紹介したうえで、構造的な要因から必要となる荷物を積み込む際の注意点を説明します。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：会議室等 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 荷崩れ等による事故を防ぎ安全な運行を行う事ができます。 
車輪後退時の安全確認講習	テールゲートの安全操作
◆メニューのねらいどころ 車輪後退時の事故が心配、又はトラック乗務員への安全教育を考えているお客様へご提案いたします。 ◆内容 バックミラーの死角やバックカメラのモニター映像の特性についてご説明します。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：20～30分 ③場所：車輪での説明 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 事故を防ぎ、修理費の低減へつなげる事ができます。 	◆メニューのねらいどころ ゲート操作中の事故が心配、又はトラック乗務員への安全教育を考えているお客様へご提案いたします。 ◆内容 事故事例を紹介しながら操作する際の注意点、ゲート装着車の特性を説明します。またゲートを操作しながら操作及び点検方法を説明します。 ◆実施要領 ①受講対象者：トラック乗務員 ②所要時間：80分 ③場所：会議室及び現車 ④実施人数：数名から実施いたします。 ◆効果 ゲート操作時の事故を減らす事ができます。 

【お役立ち活動実施事例のご紹介】

【東北営業所】

- 実施先：販売会社様
- 目的：お客様従業員のスキルアップ
- 実施内容：ウイングの構造について
- 参加人数：3名
- 参加者の声

「ウイングの構造だけではなく、材質の相性や仕様の意味なども解説してくれて、ユーザーに説明するための知識として非常に参考になった。」



【東海営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：お客様従業員のスキルアップ
- 実施内容：冷凍車講習
- 参加人数：8名
- 参加者の声

「昔と装置の取り扱いが変わっているのが非常に助かった。ジョロダレール操作における危険なポイントを教えてもらい、事故防止に役立てたい。」



【特販部】

- 実施先：運送会社様
- 目的：お客様従業員のスキルアップ
- 実施内容：架装物の安全点検箇所
- 参加人数：10名
- 参加者の声

「積荷や架装部品を落下させないための重要性が分かった。また、ウイングの油圧オイル量や色についても大事さが分かった。」



【首都圏営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：お客様従業員のコンプライアンス向上
- 実施内容：コンプライアンス研修
- 参加人数：33名
- 参加者の声

「過去事例の発生原因や、トランテックス社内の取り組みが聞けて大変勉強になった。」



【関西営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：お客様従業員のコンプライアンス向上
- 実施内容：飲酒運転防止講習
- 参加人数：28名
- 参加者の声

「飲酒を少しでもしたらハンドルは握ってはいけないと再確認できた。お酒が抜けるまでの時間がかかりかかると驚いた。」



【九州営業所】

- 実施先：運送会社様
- 目的：お客様のスキルアップ
- 実施内容：乗務員マナー講習
- お客様の声

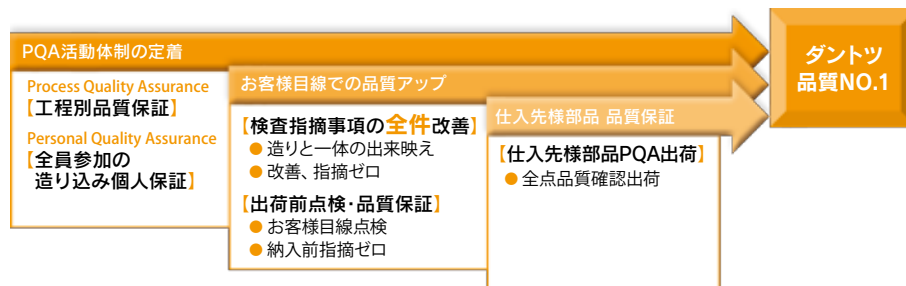
「基本的なことではあるが、普段意識できていなかった点に気づきがあって良かった。大変役に立ったので、今後もお願いしたい。」



品質マネジメント

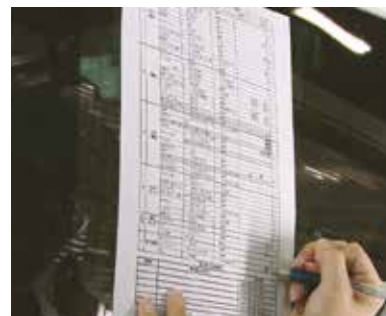
品質管理活動方針

当社では①PQA活動体制の定着②お客様目線での品質アップ③仕入先様部品品質保証の3点を具体的な取組み方針とした「ダントツ品質NO.1」を品質管理活動方針としています。



品質管理体制

工程別品質保証をベースに、毎日開催する稼働会議（生産部門・生産管理部門・品質保証部門・開発部門の責任者が参加し、前日の生産状況を振り返り対応課題の明確化等を行う）でも品質課題について関係者全員で共有しています。また、月1回、全役員が参加する品質会議も開催し、重要品質問題についての対応状況等について意見交換も実施しています。

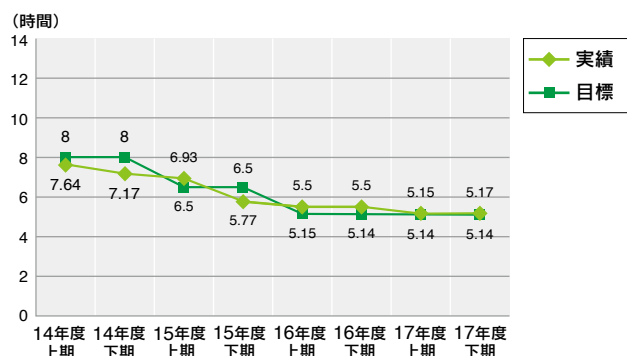


アフターサービス

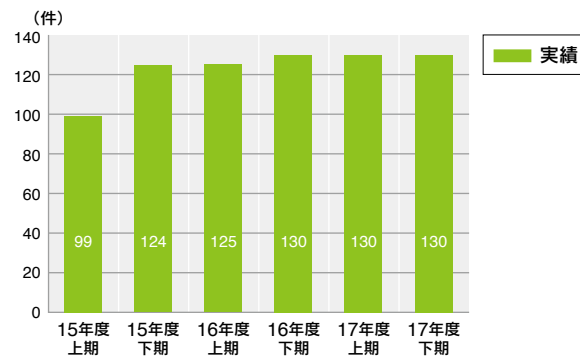
アフターサービスNO.1を目指して

サービス部門ではアフターサービスNO.1に向けて、お客様に商品をお届けした後も、お客様の身近な存在として全国の販売会社様および全国160のSS店様と連携しながら、すばやく正確な修理を行い、お客様にご満足いただけるアフターサービスを目指しております。また、お客様に有事が発生した際の初動対応までに要した時間（初動対応タイム）や定期訪問数を数値化し活動のレベルアップに役立てています。

【初動対応タイムの推移】



【定期訪問件数】



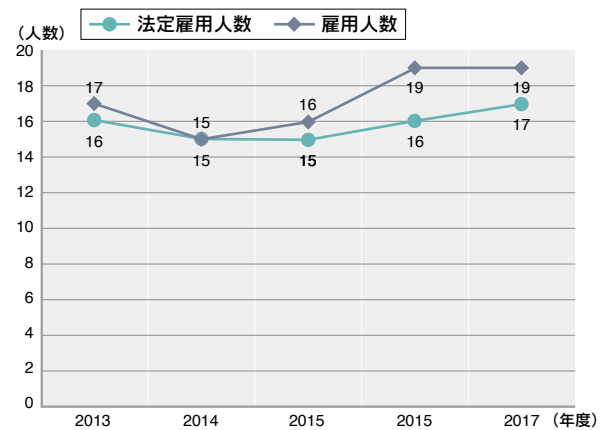
従業員

雇用促進

障害者雇用への取り組み

製造部門を中心に働きやすい環境整備を進め、積極的に障害者雇用を進めています。2017年度は19名の方（障害者法定雇用人数17名）を雇用しておりますが、これからも一人でも多くの方の雇用・定着に繋がるようにハローワーク様等のご支援を受けながら、取り組みを進めていきます。

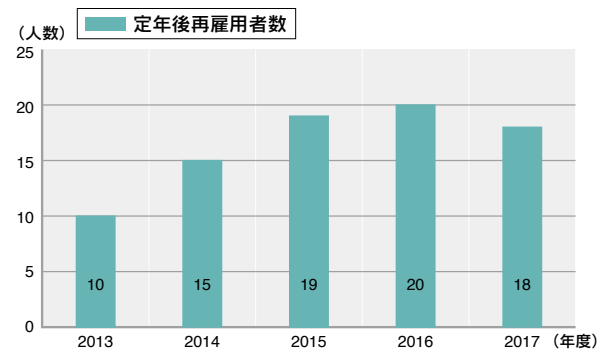
【障害者雇用人数の推移】



60歳定年後の再雇用への取り組み

製造・設計・販売等の品質維持向上のため、技術に習熟した経験豊富な従業員の確保が必要とされ、また一方で、60歳定年後もこれまで培った技術・経験を活かして働きたいという方にも安心して働ける職場の整備も必要となっています。そこで当社では定年退職を迎えられた方の希望をお聞きしながら再雇用を進めており、2017年度は18名の方を雇用させていただいております。

【定年後再雇用者数の推移】



正社員登用への取り組み

多様な人材を様々な年代・経歴から採用するため、新卒採用に加えて即戦力としての中途採用、そして期間従業員として当社で勤務していただいている方の中から本人の希望と職場推薦があった方を対象とした正社員登用を積極的に行っております。2017年度は大卒・高卒を含めた新卒採用で44名（女性8名含む）、中途採用で3名、期間従業員の正社員登用で20名の採用を行いました。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
新卒採用	18	20	21	44	44
中途採用	3	9	3	2	3
期間従業員の正社員登用	12	35	19	19	20

安全衛生

安全衛生への取り組み

当社は「安全は全てに優先する」を安全衛生基本理念に掲げ、総括安全衛生管理者をトップに、産業医と連携しながら「人への安全意識向上」「快適職場環境づくりの推進」「心身の健康管理」「通勤災害の防止」の4つの観点から各種取り組みを実施することで、自主自立の安全文化構築を進めています。

【2017年度の主な活動】

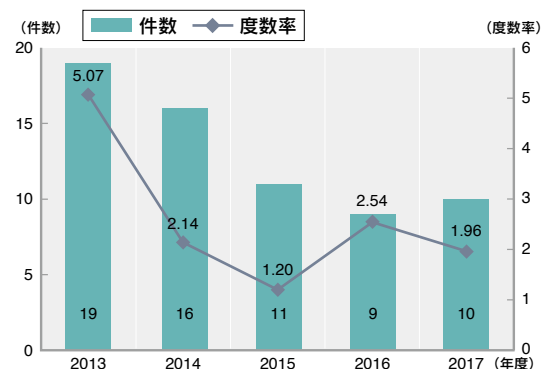
実施事項	
人への安全意識向上	危険撲滅やりきり活動の継続
	予防保全活動の継続実施
	工場内歩行ルール順守活動
	安全パトロール強化による安全感度向上
	安全人間づくり
安全対策	車両接触防止
	高所作業安全対策
	切創災害防止対策
	台車災害防止対策
快適職場づくりの推進	熱中症対策の実施
心身の健康管理	定期健康診断結果に基づく健康指導
	ストレスチェックの実施
	健康知識の習得に向けた講演会開催
通勤災害の防止	交通ルール順守徹底

安全衛生基本理念

「安全は全てに優先する」

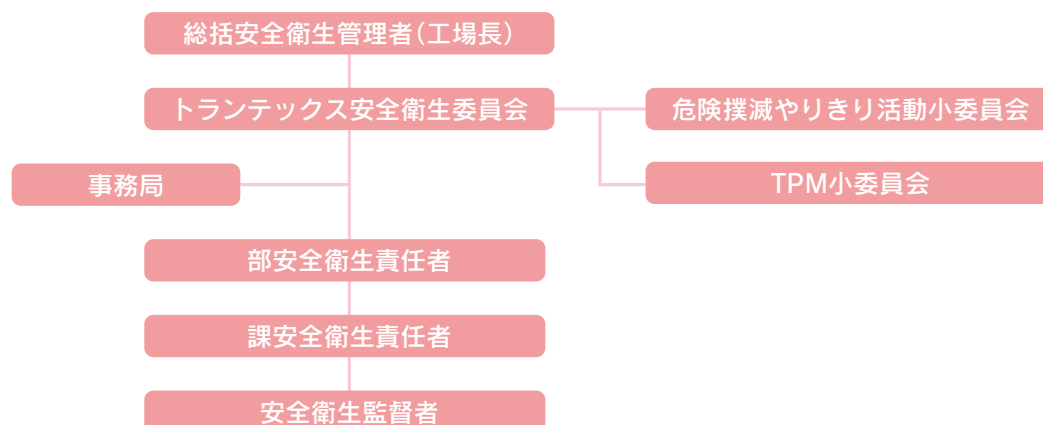
- 安全なくして、企業の発展なし
- ルールを守らずして、安全なし
- プロとしての自覚なくして、安全なし

【災害発生件数と度数率】



安全衛生組織

当社では安全衛生活動を円滑に推進するために、毎月開催している安全衛生委員会や、その補助組織として2つの小委員会を設置して、効率的に且つ重点的に活動を行う体制を整備しています。



安全衛生活動事例

■工場内歩行ルール順守活動

工場内移動時にも安全意識を高めるため、歩行帯通行や横断歩道通行の100%実施、「ポケ手歩行」や「ながら携帯」撲滅に向けた取り組みを継続的に行っています。



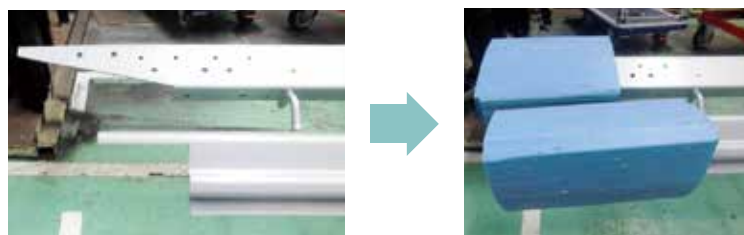
■安全人間づくり

視覚認識できる安全対策を進めています。階段昇降方向の表示実施や、フォークリフトの出入りが多い場所へ黄色を塗布することで、歩行者への注意喚起を行っています。



■切創災害防止対策

社内で発生する切創災害を撲滅するため、各職場で切創の危険箇所を洗い出し、衝立やエッジカバー、コーナーカバーを順次設置しています。



■台車災害防止対策

台車の安全要件を明確化し、要件に満たないものの改善を図り、作業時の挟まれ・切創等の防止を図っています。

ハンドルを取り付けて
“握り部”を緑色で明示



新設台車には足の
巻き込まれ防止対策
を順次実施

■安全関連の講演会開催

「全国安全週間」や「全国労働衛生週間」を利用して、役員・従業員・仕入先様を対象として当社産業医、診察医による講演会を開催しています。



人材育成・労使関係

人材育成

人材育成の観点から階層別研修の新入社員研修・フォローアップ研修に加え、製造部門での新任役職者向けの研修、営業部門やサービス部門でのスキルアップ研修、開発部門での知識習得研修などの部門別研修を継続的に実施しています。

【2017年度に実施した主な研修内容】

階層別研修	新入社員研修・フォローアップ研修
部門別研修	製造部門 工長・職長集合研修
	製造部門 新任工長研修
	製造部門 新任職長研修
	製造部門 新任指導員研修
	製造部門 TPS研修
	営業部門 全体研修
	サービス部門 スキルアップ研修
	開発部門 全体研修



製造部門 工長研修



製造部門 新任指導員研修



製造部門 TPS研修



製造部門 工長・職長研修

労使関係

トランテックスとトランテックス労働組合は定例の労使会議を持ち、様々な検討を重ね、労働条件の改善に努めています。また、労働組合側からの職場環境改善要求を通じて一歩ずつ改善を進めています。

環 境

環境マネジメント

環境基本方針

トランテックスは、地球環境の保全を経営における最重要課題の1つであるとの認識のもと、2003年10月、企業理念に基づく「トランテックス地球環境憲章」を制定し、環境保全活動を積極的に進めています。

■基本方針

1. 地球環境の保全を総合的かつ長期的に進める

地球環境問題は、重要かつ深刻であるとともに、自動車は広い範囲でこの問題に関わっているとの認識のもとに、全社を挙げて、仕入先等の関係者とも協力して、開発から生産、販売、使用、廃棄に至る全ての段階における環境への影響を考慮した環境保全のための対策を、長期的視点に立って推進する。

2. 地球環境の保全を広い視野で身近な行動から進める

豊かで住みよい地球をめざして、事業活動の範囲内だけでなく、社会においては良き市民として、地域社会においては良き隣人として、環境保全のための行動を進める。

■行動指針

1. 環境負荷のより小さい事業活動をめざす

- 工場・事業所の立地における環境への配慮
- 地球環境にやさしいトラックボデーの開発
- 排出物を極力出さない生産活動
- 省エネルギーと省資源、リサイクルの推進

2. 関係者と協力しながら進める

仕入先、関係会社等と協力し、事業活動の様々な段階において、また、事業所の内と外とにおいて、環境保全に努める。

3. 社会への貢献を心がける

社会においては良き市民として、また、地域社会においては良き隣人として、社会や地域における環境保全の諸活動に協力する。

4. 自己啓発を図る

社会に対して開かれた企業として、また、企業人であるとともに良き市民として、地球環境問題に関して広く社会に学び、会社ならびに社員ともに自己啓発を図る。

本社・工場環境方針

本社・工場では基本理念、トランテックス地球環境憲章及びトランテックス地球環境行動計画等を受けて、本社・工場の環境に与える影響（著しい環境影響）、関連法規、利害関係者との関係等を配慮し、継続的改善及び汚染の予防のための基本方針（行動原則）として、本社・工場環境方針を定めています。

トランテックスは、トラックボデーなどの開発・生産・販売・サービスを通じて、環境に与える影響を常に認識し、白山の豊かな自然や社会と調和する企業を目指して、全員参加で環境保全活動を推進します。

1. 私たちは、環境管理システムの効果的な運用と継続的改善をはかり、環境汚染の予防に努めます。
2. 私たちは、環境に関する法規制や私たちが守ると約束した協定・指針などを遵守し、社会とのつながりを大切にします。
3. 私たちは、環境への排出物や廃棄物を抑え、リサイクルを推進し、エネルギーや資源の効率的な利用を進めます。
4. 私たちは、環境に負荷を与える有害な物質の使用量を減らし、ライフサイクルを考慮した環境に優しい製品の開発を進め、提供します。

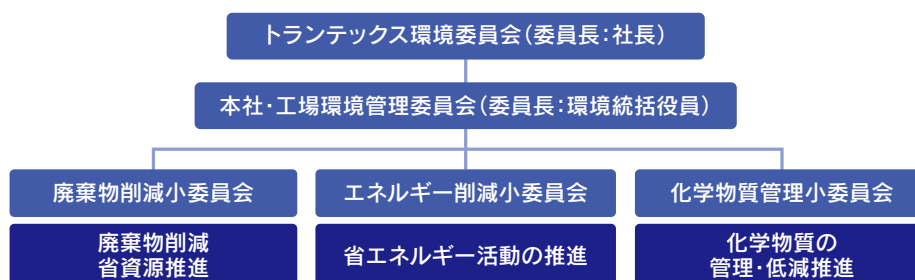
環境目標と実績

【2017年度環境活動実績】

項目	活動内容		活動実績		関連頁
自然共生社会の構築 環境保全と	生産活動における環境負荷物質の低減 VOCの低減 ●VOC低減塗料の導入		●トルキシルフリー塗料の導入検討・調査		P21
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	VOC原単位 (g/m ³)	89	87.4	○	
	自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進		●「クリーンビーチいしかわ」海岸清掃イベントに参加 ●本社工場周辺清掃活動の実施		P24
低炭素社会の構築	生産活動における省エネ活動の徹底と 温室効果ガス排出量の低減 生産CO ₂ の低減 ●生産性改善による工場稼働時間短縮 ●高効率設備・機器への更新 ●設備稼働の見直し		●工場部門を中心とした生産性改善 ●キャブ乾燥炉の更新 ●コンプレッサーの運転見直し		P21
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	生産CO ₂ 原単位 (CO ₂ -ton/台)	0.334	0.348	×	
	物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減 物流CO ₂ の低減 ●効率的な完成車輸送		●効率的な完成車輸送の実施		P21
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	物流CO ₂ 原単位 (CO ₂ -千ton/トンキ口)	0.0685	0.0683	○	
循環型社会の構築	生産・物流における排出物の低減と資源の有効利用 廃棄物の低減 ●廃棄物の有価物処理化 ●歩留り改善		●廃プラスチック、廃シンナーの有価物処理継続 ●床板の歩留り改善		P21
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	廃棄物CO ₂ 原単位 (ton/台)	0.099	0.097	○	
	物流梱包包装材の低減 ●メール便活用 ●梱包材簡素化		●メール便の積極的活用 ●梱包材簡素化の推進と徹底		
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	梱包材原単位 (ton/百万円)	0.0317	0.0316	○	
	水使用量の低減 ●埋設配管漏水対応 ●塗装工程での水使用低減		●漏水ヶ所の修繕対応 ●電着塗装工程での水使用量削減		
	項 目	2017年度目標	2017年度実績	評 価	
	水使用量原単位 (m ³ /台)	13.7	10.6	○	
環境経営	環境教育活動の充実と推進		●各部署での教育実施		P20
	環境情報の積極的な開示とコミュニケーションの充実		●CSRレポート発行 ●近隣町内会役員の方を交えての地域懇談会開催 ●工場見学の受入れ		P24
	異常苦情ゼロ・リスクの最小化		●環境パトロールの定期実施 ●環境管理責任者（環境管理者）による定期パトロール ●環境リスクへ計画的な対応		P22
	環境マネジメント		●環境監査実施 ●環境コスト把握 ●PCB廃棄物の適正処理 ●地下水保全		P19 ・ P20

マネジメント推進体制

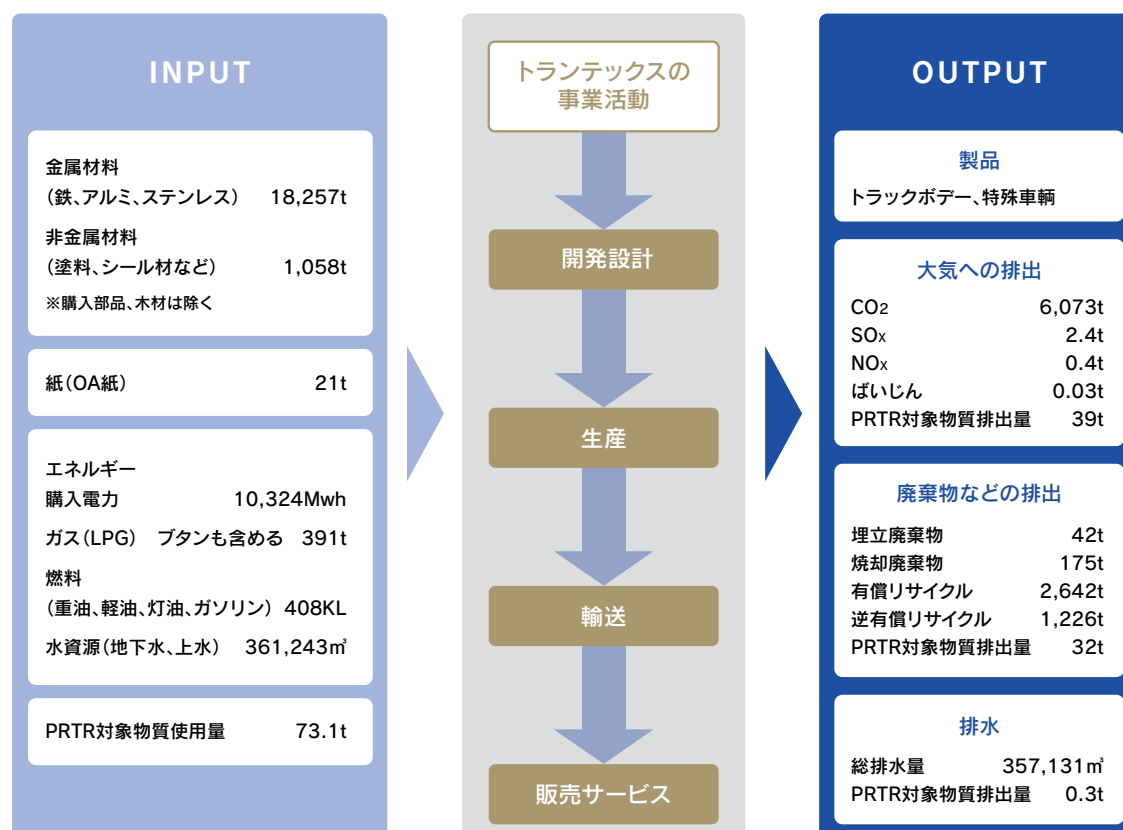
トランテックスは、環境保全を推進するため、全社的組織として社長を委員長とする「トランテックス環境委員会」を設置し、基本方針の決定と諸活動の総合推進を図っています。また、下部組織として本社・工場環境管理委員会と3つの専門委員会を設置し、本社・工場環境管理委員会は、原則毎月開催とし各種課題の進捗管理・検討・審議等を行なっております。また、3つの専門委員会は、事業活動による環境負荷の低減として大きな課題であるCO₂低減・VOCなどの化学物質低減・廃棄物低減などの個別の専門テーマに対して、部門横断的な視点からアプローチをしています。



事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

【事業活動における2017年度の投入資源と環境への排出】



PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) : 有害化学物質排出・移動登録制度
 SO_x: 硫黄酸化物 NO_x: 窒素酸化物

環境保全コスト

環境保全コストおよび効果を定量的に把握し、環境保全活動に効果的かつ継続的に取り組むため、環境会計に取り組んでいます。尚、環境保全コストは①投資額は対象期間の投資のみとする、②経費の中に減価償却分は含めない、③環境保全以外の目的を含んでいる設備投資や費用については、環境対応分が明確に把握できるもののみ計上することとしました。環境保全対策にともなう経済効果については、把握可能な項目のみ集計しました。

【2017年度の環境コストの集計結果】

[単位:百万円]

		2015年度		2016年度		2017年度	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	21.1	6.3	31.7	7.6	120	7.2
	地球環境保全コスト	20.5	—	—	—	44.5	—
	資源循環コスト	—	73.8	—	89.3	—	93.3
	計	41.6	80.1	31.7	96.9	164.5	100.5
上・下流コスト		—	—	—	—	—	—
管理活動コスト	EMSの整備、運用	—	1.6	—	1.7	—	1.5
	環境測定	—	3.7	—	3.5	—	3.6
	従業員の教育	—	—	—	—	—	—
	景観保持	—	—	—	—	—	—
研究開発コスト		—	—	—	—	—	—
社会活動コスト		—	—	—	—	—	—
環境損傷対応コスト		—	—	—	—	—	—
合 計		41.6	85.4	31.7	102.1	164.5	105.6

【2017年度の経済効果の集計結果】

[単位:百万円(—は十万円未満)]

経済効果	2015年度	2016年度	2017年度
リサイクルによる事業収入	56.4	57.3	115.8
省エネルギーによるエネルギー費の節減	3.8	—	1.1
省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の削減	14.5	—	0.2

【2017年度の物流効果の集計結果】

[単位:百万円(—は十万円未満)]

物流効果	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素 (t-CO ₂)	33.4	160.5	—
廃棄物総排出量低減 (t)	345	175	—
PRTR対象物質排出量・移動量削減 (t)	—	2.3	—

環境監査

環境マネジメントシステムの適合性・有効性を客観的に評価するため環境内部監査を行い、監査で取り上げられた事項はマネジメントシステム改善のために活用しています。また、国際システム審査株式会社に外部審査を委託し、第三者の立場で評価をいただいております。2017年度は維持審査およびISO14001：2015版への移行審査を実施し、当社のマネジメントシステムはISO14001の要求事項に引き続き適合しているとの評価をいただきました。



内部監査



外部審査

環境教育・訓練

環境教育として管理職研修、各職場内研修、新入社員研修を行っています。また、環境事故は環境汚染につながるだけでなく、近隣住民の方々や生産活動にも大きな影響を及ぼす可能性があることを再確認するため、緊急対応訓練も実施しています。これからも継続的に実施し、環境意識の高い職場作りを進めていきます。

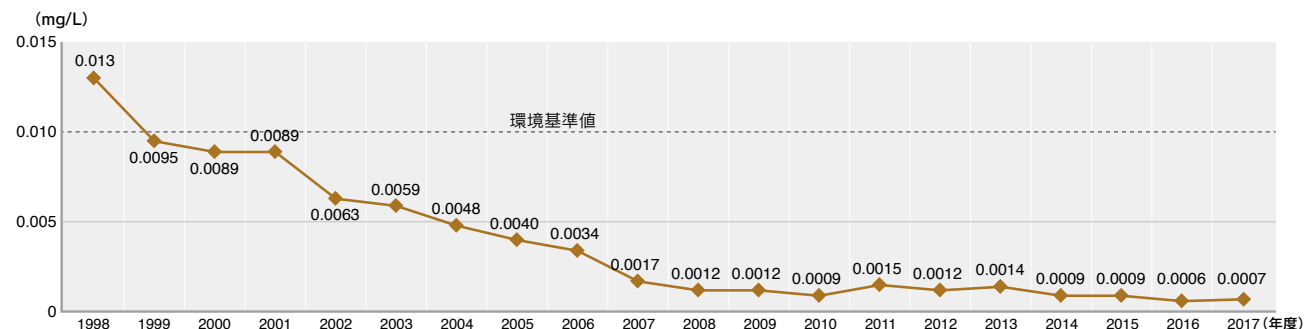


PCB廃棄物の保管と処理

2017年度は高濃度PCB含有の蛍光灯安定器および高濃度PCB汚染物の処理を行いました。また、微量PCB含有廃棄物についても適正に保管し、国の処理認定を受けた処理業者様に計画的に依頼し、処理を行う予定です。

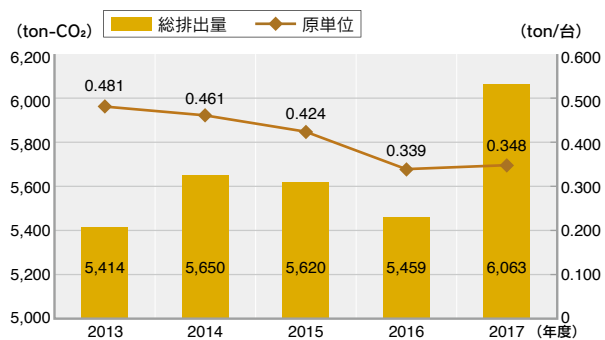
地下水保全への取り組み

当社では、過去に有機塩素系化合物であるテトラクロロエチレンを使用しており、1996年に使用を全廃致しましたが1998年に本社・工場敷地内の1ヶ所で環境基準を上回るレベルが確認されました。1998年以降行政指導の下、積極的に浄化対策を進めており、土壌内の汚染ガスの吸引及び地下水揚水による浄化対策の結果、濃度は低位で安定しております。

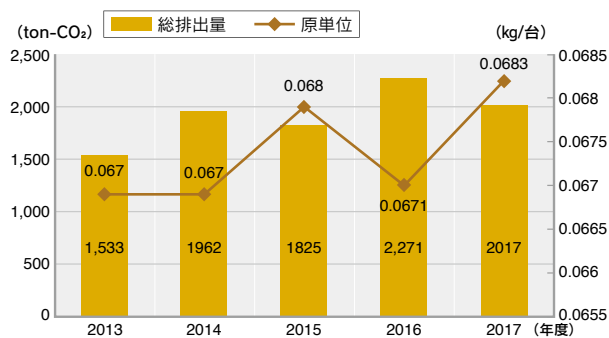


環境パフォーマンスデータ

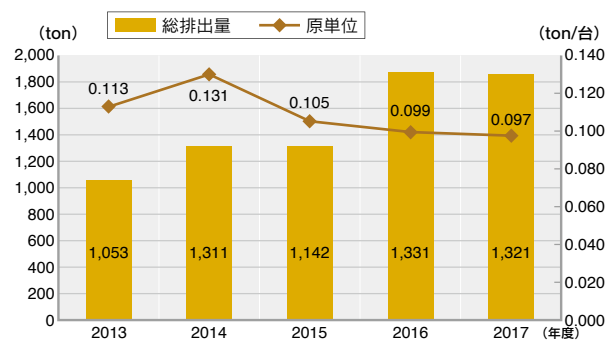
【生産CO₂】



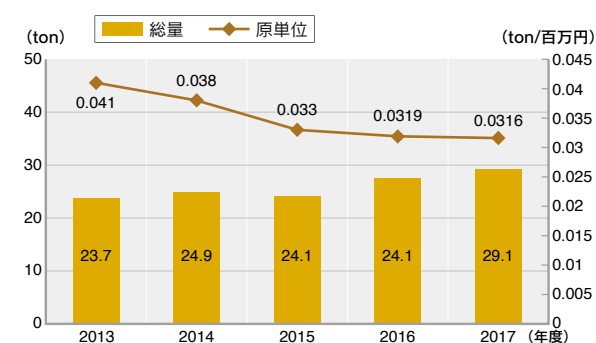
【物流CO₂】



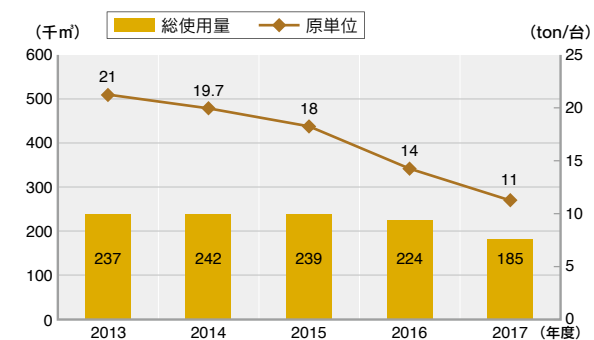
【廃棄物】※1



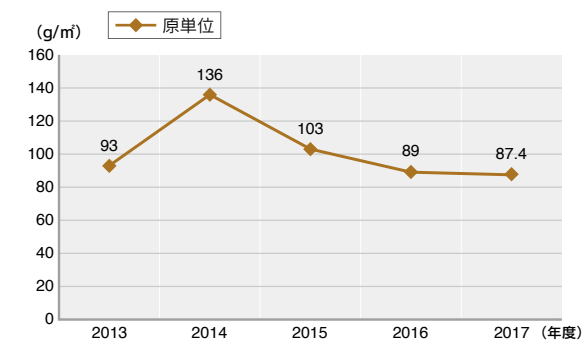
【物流梱包包装資材】



【水使用量】



【VOC】※2



(※1) 廃棄物＝逆有償リサイクル＋焼却＋埋立

(※2) VOC(Volatile Organic Compounds): 揮発性有機化合物

環境リスク低減

環境リスク低減活動

環境及び周辺住民の方々への配慮のもと、環境リスクの抽出と改善を行っています。近年は異常排水発生時の敷地外漏洩対防止策として各放流ポイントへの緊急遮断水門の設置と、工場作業音遮断のための防音壁の設置を進めてまいりました。



調 達

基本的な考え方

当社は当社の製品が業界トップの位置を確保できるよう、仕入先の皆様と協力して、ともに発展していくことをめざしています。仕入先様には、コスト・品質・納期の最高レベル実現に向けた調達方針を提示するとともに公正な取引の維持を心がけています。

仕入先様との交流

当社では毎月、仕入先様と仕入先会議を開催し、生産計画の情報提供と品質アップのための仕入先様による品質改善事例発表会を行っています。その他、工場内および周辺での交通ルールの遵守やマナー向上の呼びかけなど、地域社会との共生に係わることも展開を行っています。

また、毎年1回、仕入先総会を開催し、当社の年度方針・調達方針をお伝えさせていただき、また年間を通じて原価改善活動や品質管理活動にご功績をあげていただきました仕入先様を表彰させていただいております。



仕入先総会の様子



受賞者の皆様

調達方針

当社の商品が、最高の価格競争力を確保できるように、広く世界に門戸を開き、最適な仕入先を選定することにより、

1. ミニマムな価格
2. 最高の品質
3. タイムリーな納期

を実現し、商品の拡販と当社の収益拡大に貢献する。

社会貢献活動

海岸清掃活動

石川県海岸全域の清掃活動「クリーンビーチいしかわ in はくさん」に継続的に参加しています。早朝にもかかわらず清掃活動の主旨に賛同いただいた従業員やそのご家族も含め総勢約130名が参加しました。今後もこのような地域イベントへの積極的な参加を続け、環境美化に貢献していきたいと考えております。



地域懇談会の開催

毎年、近隣町内会の役員様にお越しいただき地域懇談会を開催しており、業況や環境への取り組み事例の紹介、工場見学を通じて会社への理解を深めていただいております。また、ご参加いただいた方々との忌憚のない意見交換を通じて、地域社会のよりよい関係作りを進めていきます。



会社見学の受入れ

各種学校・団体様で合計15回、約780名の方に会社見学にお越しいただきました。小学生はものづくりを学ぶ社会科学習として、高校生は将来、製造業で働くことを選択肢として考えるきっかけとして、また、各種団体様は様々な学習目的の一環としてご利用いただいております。これからもご来社いただく方々のご一助となれますよう、積極的に取り組んでまいります。



工場周辺清掃活動

本社工場周辺道路を中心に、毎月1回のペースで清掃活動を行なっています。勤務時間前の30分程度の短い時間を利用し、毎回、多くの従業員が参加しています。10年以上継続したことで徐々に集まるゴミの量も減ってきており、工場周辺の美化に貢献できているのではないかと感じています。

コンプライアンス

当社ではコンプライアンスの実践を経営の重要課題と考えており、全社的なコンプライアンス風土醸成に向けた取り組みを継続的に実施することで、あらゆる場面で公正な判断・活動ができる企業集団を目指していきます。

「トランテックス行動指針」

「トランテックス行動指針」は、基本理念の内容を受けて、各ステークホルダーの皆様の期待に応えるために「社員一人ひとりがどう行動すべきなのか」を具体的に明記した内容となっております。

私たちは、この「トランテックス行動指針」を日々の仕事の手引書として活用し、また合わせてコンプライアンスガイドブックを活用することで、法令順守を徹底していきます。そして、各ステークホルダーの皆様の期待にお応えしていきます。



コンプライアンス教育

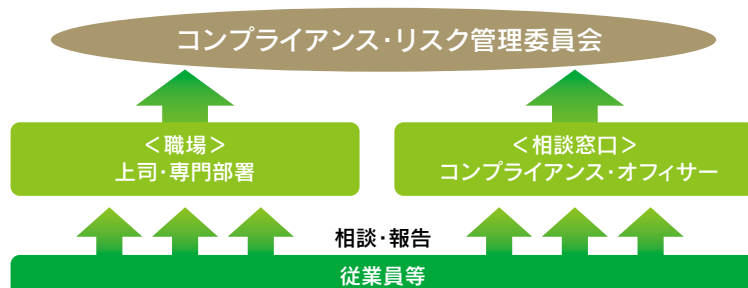
役員・管理職を対象としたコンプライアンスに関する講演会を開催し、日野グループとして高リスク分野と捉えている長時間労働や下請法について理解を深め、コンプライアンス問題未然防止に向けたレベルアップを図りました。また、全従業員対象にも各職場に即したコンプライアンス事例を用いて勉強会を実施しました。今後も継続してコンプライアンス教育を実施し、コンプライアンス違反が発生しない、職場作りを行っていきます。



コンプライアンス相談窓口

従業員がコンプライアンスに関する問題に遭遇した場合、職場を補完する相談先として、コンプライアンスオフィサーを設置し、社内への周知を図っています。社員等は直通の電話またはE-mailにてコンプライアンスオフィサーに直接相談・報告することができます。また、日野グループとして、外部の法律事務所への相談窓口も設けられています。

【参考：従業員の相談・報告ルート】



コーポレートガバナンス

当社は基本理念に基づき、各ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要課題と考えております。具体的には経営の透明性を確保するため、株主総会・取締役会・監査役協議会・会計監査人等の機関設置を行い、また迅速な環境変化への対応と意思決定を図るため、経営判断に基づく業務執行レベルの判断を行う執行役員会を毎週開催するなどの体制を構築しております。

取締役会

会社法で定める重要事項や経営に係わる重要事項の審議決定機関として、原則毎月1回開催しています。また、取締役の任期は、経営責任を明確にするため1年とし、非常勤取締役を1名選任しております。

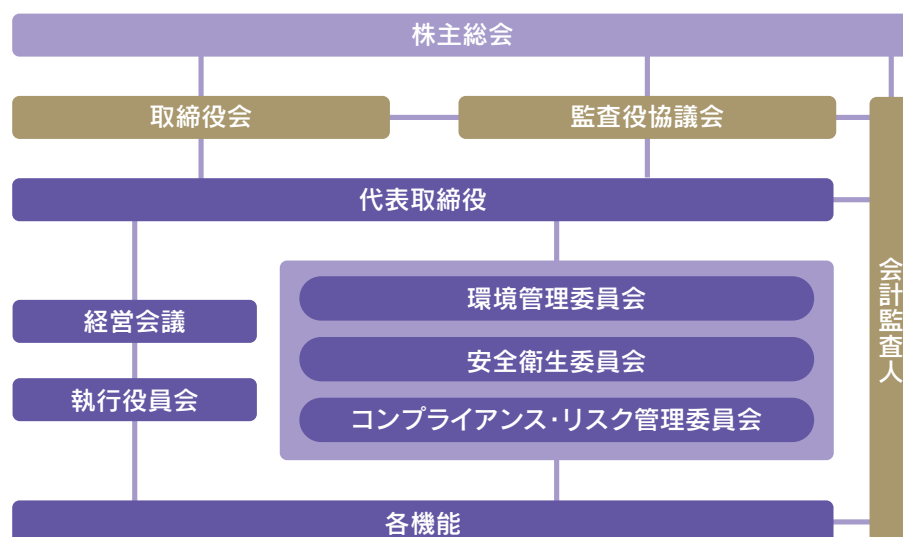
監査役協議会

取締役会の監督機能をより強化するため、常勤監査役以外に2名の非常勤監査役を選任しております。

会計監査人

2017年度はあらた監査法人を選任いたしました。

【コーポレートガバナンス体制図】



編集にあたって

本レポートは、当社を取り巻くステークホルダーの皆様に当社の活動を深く理解していただき、さらなる信頼をいただくことを目的としています。お読みいただいた皆様とのコミュニケーションツールとして、わかりやすく表現するよう心がけました。

対象範囲・対象期間

原則として2017年度（2017年4月～2018年3月）の実績や取り組みを対象としております。但し、一部の内容については、本レポート発行直前までの活動も記載しています。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン（2012年度版）」を参考にし、編集しています。



Corporate Social Responsibility Report 2018

本報告書の内容や当社の環境への取組みなどについて、ご意見、ご質問などがございましたら、下記までお問合せください。

株式会社 **トランテックス** 総務・人事部

〒924-8580 石川県白山市徳丸町670番地
TEL(076)274-2806 FAX(076)274-8191

ホームページアドレス <http://www.trantechs.co.jp/>

発行日 2018年11月

※この報告書はトランテックスホームページ上でもご覧いただけます。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



Trademark of American Soybean Association